

平成17年11月11日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	歴史的鋼橋の補修・補強 に関する調査小委員会	委員長 (分科会長)	五十畑 弘	連絡幹事	向山 辰夫
活動予定期間	平成15年6月 ～ 平成18年5月				
活動の目的	歴史的価値のある鋼橋ならびに鋼構造物の歴史的文化財としての価値を損ねないような補修・補強方法を調査・検討し、マニュアルとしてまとめる。				
これまでの 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成15年9月 イギリス土木学会・土木史研究委員会年次会議への参加 ・ 平成15年10月 研究小委員会活動内容を学会HPに公開 ・ 平成16年2月 「歴史的鋼橋調査小委員会」で整理された歴史的鋼橋データベースを土木学会図書館のHPにアップ。(デジタルアーカイブに掲載) ・ 平成16年3月17日 文化庁建造物課北河氏講演会 ・ 平成16年11月 平成15年度活動報告書(PDF、CD版)配布 ・ 平成17年4月 イギリスの補修事例データ収集 ・ 平成17年10月 国際会議に内容報告 <p>委員会開催状況は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成17年7月19日, 第14回会議. 2) 平成17年9月13日, 第15回会議. 3) 平成17年11月18日, 第16回会議予定. 				
今後の活動計画 と 目標とする成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平成16年度：歴史的鋼橋の補修・補強に関する具体的工法に関する調査を実施中である。歴史的、文化的な側面の保存・補修条件を満たしかつ、土木構造物としての安全性、信頼性を確保するための工法に関する調査、研究を実施する。 2) 平成17年度：平成15、16年度の調査を踏まえて、「歴史的鋼橋の補修・補強マニュアル(案)」の策定を実施する。(発刊：平成18年11月予定、A4版200頁、1000部以上、¥5,000円未満目標) <p>目次予定、1章：序論、2章：補修・補強の種類と範囲、3章：材料、4章：点検、5章：補修補強事例と評価、6章：計画・設計・施工、7章：再利用、試験、記録、8章：関連事項、巻末史料。なお、発刊後セミナーを予定。</p>				
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1)歴史的鋼橋データベースの保守とデータ追加(1960年以降建設された鋼橋を対象)等についても本小委員活動とする。HPを通じて更新すべき情報をお寄せ下さい。 2)国土開発技術センター17年度研究助成を申請し(平成16年8月),研究予算獲得に成功した。遠隔地委員交通費、マニュアル作成用共同ウェブサイトの使用料、出版経費等に充当する。 				